

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本11月鉱工業生産)

2018/12/28

りそなホールディングス 市場企画部

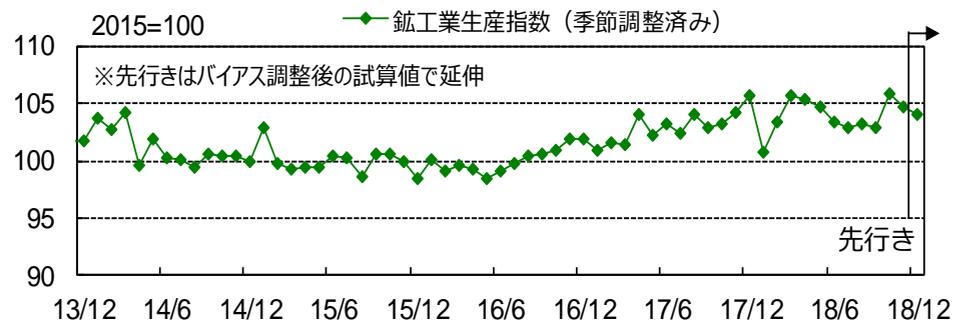


〇概況

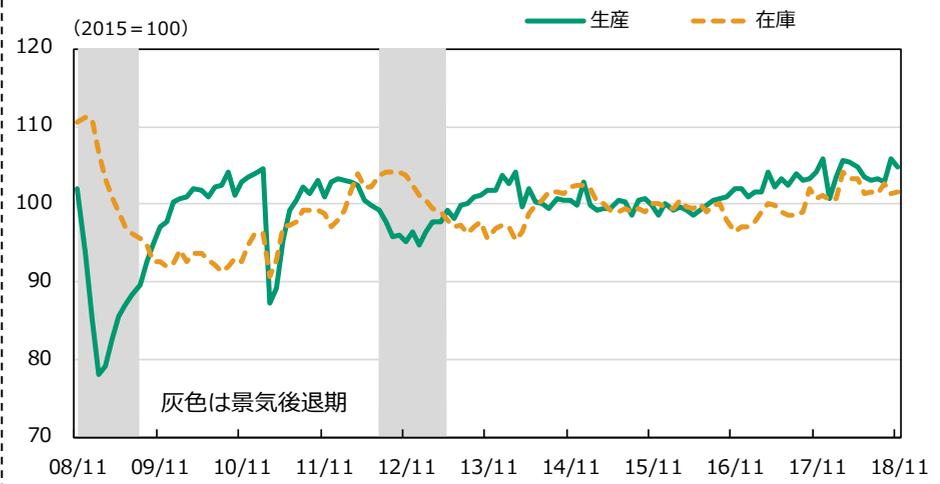
- ◆ 11月鉱工業生産、前月比▲1.1%と低下
- ◆ 基調判断は「緩やかな持ち直し」で前月から据え置き
- ◆ 生産予測調査によると、12月+2.2%、1月▲0.8%の見通し

- ✓ 11月の鉱工業生産は前月比▲1.1%と、前月から低下。出荷は▲1.4%と低下、在庫は+0.2%と上昇。また、出荷に対する在庫の割合である在庫率は▲1.8%と低下。9月の自然災害の影響から10月に挽回して生産量が増加したこともあり、11月の生産は低下した。
- ✓ 基調判断は前月の「緩やかな持ち直し」から据え置き。
- ✓ 生産の業種別では、15業種中8業種が低下。はん用・業務用機械(▲11.0%)、電気・情報通信機械(▲2.1%)、電子部品・デバイス(▲1.7%)などが低下。
- ✓ 出荷の業種別では、15業種中11業種が低下。はん用・業務用機械(▲8.7%)、自動車(▲2.2%)、電気・情報通信機械(▲4.6%)などが低下。
- ✓ 在庫の業種別では、15業種中8業種が上昇。石油・石炭製品(+9.7%)、自動車(+6.1%)、化学(+4.6%)などが上昇。
- ✓ 予測調査では12月+2.2%、1月▲0.8%の見通し。(ただし予測調査には上方バイアスがあり、経済産業省によるバイアス調整した先行き試算値は12月▲0.7%となる。)企業の生産計画の慎重さが伺える結果となった。

【鉱工業生産(指数)】



【生産と在庫の推移】



【鉱工業生産(寄与度)】

